

シマウマといえば、やっぱりキレイな縞模様！！当園のチャップマンシマウマは縞と縞の間にある「影縞」とよばれる縞があるのが特徴なんだ。ところで縞模様がなぜあるのかというところ…

- ①カモフラージュ説  
群れで行動する時に縞が重なって、1頭の輪郭が分からず、敵から狙われにくい。
- ②吸血性ハエ対策説  
血を吸うハエは縞模様を好まないため、虫から体を守る。

などいろんな説があるよ。今、一番有力な説は②吸血性ハエ対策説なんだって。模様にもちゃんと理由があるんだね！



影縞

■逃げるだけじゃない！

テレビでライオンに追われて逃げるシーンを見たことがあるかもしれないけど、シマウマは逃げるだけじゃないよ。ピンチの時は、敵に立ち向かうときもあるんだ。どうやってかというところ…ズバリ！武器は強力な後ろ蹴り！キックはライオンの顎も砕けるほど力強いんだ。

# ZOOっと平川



No.1  
気分は宇宙飛行士!?  
「飛行塔」



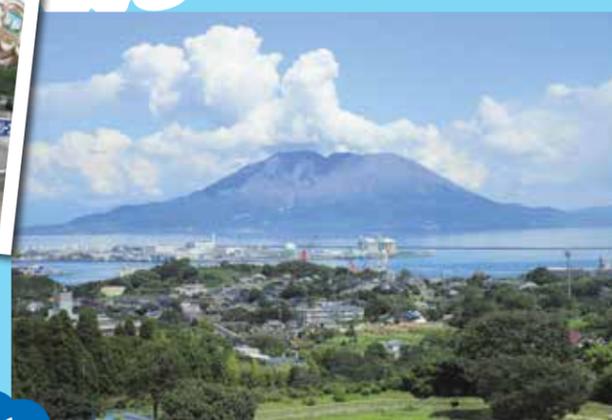
No.2  
小さなお子様もOK!鉄板の  
「メリーゴーランド」



No.3  
遠心力で飛んでいませう!!!  
「チェーンタワー」

## 遊び倒そう!! 遊園地紹介

お子様連れや修学旅行生に人気の遊園地。人気の大型遊具トップ3を紹介します!  
(平成30年度利用者数)



残念! トップ3入りならず!の観覧車からは、晴天時はこんな素晴らしい景色が望めます。



特集1

干支特集

「平川動物公園のネズミにチュー目!!!」

特集2

ボルネオ報告(前編)「オランウータンとゾウがすむ島」

特集3

長寿の秘訣!?大公開!!!

# 干支特集

# 平川動物公園の ネズミに



# もく 目!!

神様が一番早く自分のもとにやってきたものを順にその年の大将にするとわれ、猫に嘘の情報を与え、早目に出た牛の背中にこっそり乗って、一番初めに到着したと言われるちゃっかり者のネズミ。さて、本来のネズミたちはどんな動物なのでしょう？今年の干支のネズミ(げっ歯目)について紹介します。

## ★げっ歯目とは…

ネズミの仲間、動物の分類では「げっ歯目」というグループに属します。漢字では「齧歯目」と書き、「齧」は「かじる」という意味の漢字です。ネズミの他に、リスやムササビ、ビーバーなどもこのグループに属します。

## ★特徴はやっぱり前歯!

犬歯はなく、上顎と下顎の両方に2つの門歯(前歯のこと)をもっていて、伸び続けます。これをノミのように使って、物をかじることで歯が削れ、一定の長さを保つことができます。



歯を見るとネズミの仲間であることがわかります

あくびをするマーラ

## ★繁殖と繁殖力

哺乳類の中で最も種類が多く、その半数を占めます。また、「ねずみ算」といわれるほど、繁殖力が強いのも特徴です。

ハツカネズミは、1回に6~8匹産み、妊娠期間が18~20日なので、1年に6~10回妊娠することができます。

生まれた時から眼も開き、毛も生えています



モルモットの赤ちゃん

## ★体の大きさ

体長80~130cm、体重35~65kgほどの大きさになるカピバラもいますが、ネズミの仲間は、体が小さい種がほとんどです。

日本に生息するネズミの中で一番小さい種はカヤネズミで、体長5~8cm、体重7~14gほどです。

世界最大のげっ歯目のカピバラ



## ★平川動物公園のネズミの仲間たち

**モルモット**  
(テンジクネズミ)

【学名】*Cavia porcellus*  
テンジクネズミ科  
【生息地】南アメリカが原産  
【食性】主に草  
【ここで見られます】ふれあいゾーン

▲模様が個性的なモルモット

ここにチュウもく

タッチングコーナーの人気者、モルモットには『ポッキー』『サブレ』など美味しそうな名前がついています。それぞれに模様が様々で、名前の看板を見て、ふれあったモルモットの名前をチェックするのがオススメです。

**マーラ**

【学名】*Dolichotis patagonum*  
テンジクネズミ科  
【生息地】アルゼンチン西北部  
【食性】木の葉や茎、根  
【ここで見られます】南アメリカの自然ゾーン

▲マーラの親子

ここにチュウもく

華奢な脚に見えますが、時速40km以上で走ることもでき、穴掘りも得意です。野生では穴を掘って、その中で夜間過ごし、出産し、共同で子育てを行ったりします。そのため、展示場を深く掘られることが多く、穴を埋める作業に一苦勞させられます。

**カピバラ**

【学名】*Hydrochoerus hydrochaeris*  
テンジクネズミ科  
【生息地】南アメリカ東部のアマゾン川流域  
【食性】草や水草  
【ここで見られます】南アメリカの自然ゾーン

▲日中はバクと同居しています ▲水かきがあります

ここにチュウもく

同じく南米の水辺に生息するブラジルバクと暮らしています。オスのソテツとメスのツンは、共に4歳の若いペアです。カピバラには、水かきがあり泳ぎが得意なので、展示場には大きなプールがあります。プールには、当園自慢の天然温泉を入れることもできます。この温泉プール、冬至まつりの時にはゆずも入りますよ。

**チンチラ**

【学名】*Chinchilla lanigera*  
チンチラ科  
【生息地】チリ(野生種)  
【食性】主に草  
【ここで見られます】ふれあいゾーン

▲チンチラの『おはぎ』耳の先が切れているので区別できます。

ここにチュウもく

『あんこ』と『おはぎ』のメス2頭がいて、耳の先が切れているのがおはぎです。来園者の方は、直接ふれあうことはできませんが、毛を触ると、その手触りはしっとりすべすべ。ネズミの中でもビカーかもしれません。お昼前が食事の時間で、好物のリンゴを前足で器用に持って食べます。

アフリカ  
タテガミ  
ヤマアラシ

【学名】*Hystrix cristata*  
ヤマアラシ科  
【生息地】アフリカ大陸  
【食性】主に草  
【ここで見られます】不思議な動物ゾーン



▲おじいちゃんの「サトン」とメスの「カオリ」「ピンコ」の3頭がくらしています。



ヤマアラシの特徴は何と言っても白黒の針です。外敵に襲われると、毛を逆立てて震わせ音を出して威嚇しますが、飼育をしていても何かに驚くと一斉に針を立てて『ザワザワザワザワ』と音を出します。しかし、伏せた姿勢のままサツマイモを両方の前足でおさえ、かじる姿はとても愛らしいです。

シマリス

【学名】*Tamias sibiricus*  
リス科  
【生息地】ユーラシア大陸北部  
【食性】草、木の種、実など  
【ここで見られます】リスの森



▲シマリスには頬袋があります



現在は4頭を『リスの森』の小部屋で飼育しています。寒くなると冬眠するので、そこでは暖房を使用し、冬も活動する様子を見ることができます。シマリスには、頬袋があり、エサを一時的に蓄えることができます。何でも詰め込もうとするので、時に与えたクリを入れようとして口に入りきらなかったことも…。

キュウシュウ  
ムササビ

【学名】*Petaurista leucogenys leucogenys*  
リス科  
【生息地】九州の森林  
【食性】木の実、木の葉など  
【ここで見られます】リスの森



▲巣穴の中の様子▲



ムササビの亜種です。夜行性のため、昼間は木の洞で過ごし、日没になると活動を始めます。リスの森では、日中は巣穴の中で過ごしていますが、時々顔を出していることもあります。手と足の間に飛ぶための膜があります。8月に開催している「夜の平川動物公園」では活動する様子を観察することができます。

オグロ  
プレーリー  
ドッグ

【学名】*Cynomys ludovicianus*  
リス科  
【生息地】北アメリカの草原(プレーリー)  
【食性】主に草など  
【ここで見られます】ゾウ展示場向かいプレーリードッグ展示場



▲手も器用です



草原で大きな群れで暮らしています。巣穴を掘って生活するため、展示場にも彼らが掘った穴がたくさん開いています。警戒心が強く、普段は後ろ足で立ち周囲を見渡しています。危険を察するとイスのように「キャンキャンキャン！」と鋭く鳴くため、「ドッグ」といいます。

★展示はしていないけど…。鹿児島島の貴重なネズミたち

北から南まで600kmにもなる鹿児島県には多種多様な生き物たちがくらしています。特に南西諸島は固有種(その地域にしか生息しない動物種)の宝庫です。ネズミの仲間も例外ではありません。これらのネズミたちは非常に限られた地域にしか生息していないこと、交通事故やノネコによる捕食などの危険にさらされていることから、絶滅の危機に立たされています。一見地味ではありますが、鹿児島島にしかないネズミたちをご紹介します。

アマミ  
トゲネズミ

【学名】*Tokudaia osimensis*  
ネズミ科  
【生息地】奄美大島の森林  
【食性】木の実や昆虫など



▲毛は針のよう 画像提供:奄美市立博物館 平城達哉氏



世界でも奄美大島にしか生息しない固有種です。柔らかい毛の他に、先が針のように尖った毛があるのが名前の由来です。尾を除いた体の長さは15cm程度ですが、ハブなどの外敵に襲われたときには60cmもジャンプをすることができます。レッドリストでは近い将来絶滅の危険性が高い種に指定されています。

ケナガネズミ

【学名】*Diplothrix legata*  
ネズミ科  
【生息地】奄美大島、徳之島、沖縄本島の森林  
【食性】木の実や昆虫など



▲圧巻の大きさ!



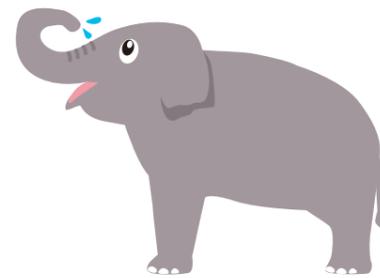
長さが5cmを超える剛毛が体のところどころに生えているのが名前の由来です。日本の野ネズミの中では最も大きく、尾を除いた体の長さだけで20~30cmもあります。夜行性であり詳しい生態はまだわかっていません。生息地の森林開発が原因などで人里での目撃例もいくつかありますが、交通事故の報告もあります。レッドリストでは近い将来絶滅の危険性が高い種に指定されています。

さまざまな個性をもったネズミの仲間を紹介しましたが、干支にちなみ、2020年はみなさんにとって、繁栄の年になりますように!そして、ぜひ平川のネズミたちにも会いにきてくださいね!

担当者:永峰



# オランウータンとゾウがすむ島



## ボルネオ報告 前編

### ●生物多様性の宝庫

少し前にオランウータンのすむ島、ボルネオ島に行く機会がありました。これは旭川市旭山動物園、豊橋総合動植物公園など7者間で結んだ「ボルネオの生物多様性の保全に関する活動のための連携と協力に関する覚書」に基づいて、互いに協力している動物園と団体のメンバーで現地調査ツアーに行くことになったためです。

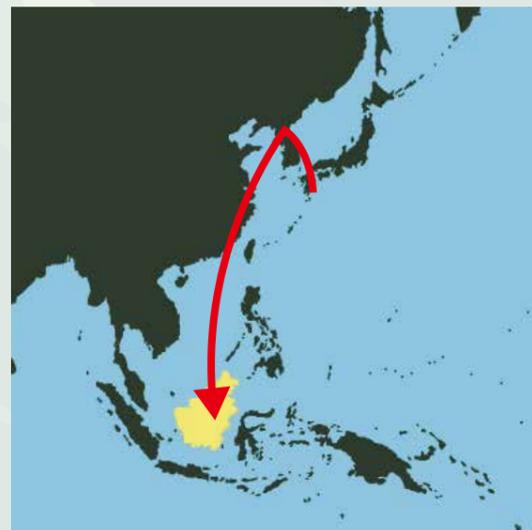
平川動物公園にはオランウータンやゾウだけでなく、ブタオザル、コツメカワウソ、マレーグマ、ビントロングな



▲ボルネオ島の熱帯雨林とキナバタンガン川

どボルネオに縁のある動物たちが多数くらしています。彼らは動物園生まれではありますが、先祖はボルネオ島でくらしていたものもいます。そのボルネオ島の気候は熱帯雨林気候で、年間を通して気温は25~30℃、湿度は80%以上もあります。降水量は年間3000~4000mmで、鹿児島との年間約2300mmと比べてもかなり多いことが分かります。そのため植物が豊富に茂り、多種多様な生き物たちがくらす独自の生態系を作っています。哺乳類だけで200種以上、鳥類は600種類以上も見られ、まさに生物多様性の宝庫「ホットスポット」と呼ぶにふさわしい場所です。しかし、最近では急速に開発が進んだために多くの生き物たちが絶滅の危機に追いつめられています。ボルネオ島の野生動物と

それらを取りまく環境がどのようなになっているのか、実際に見てみようということになったのです。



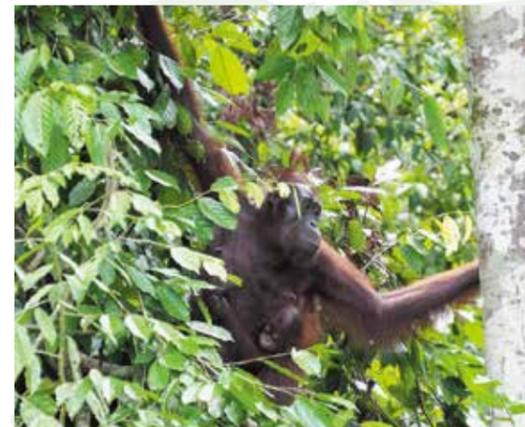
▲オランウータンのポビー 先祖はボルネオ島にいました

### ●野生復帰への取組

赤道直下にあるボルネオ島はインドネシア語では「カリマンタン島」ともよばれます。日本のほぼ2倍の面積があり、マレーシア、インドネシア、ブルネイの3か国に分けられます。日本から直行便で行くこともできますが、私は福岡空港から韓国の仁川空港経由でボルネオ島を目指しました。私が訪れたのは島の北部、マレーシアのサバ州です。コタキナバル空港に到着した翌日、国内線で1時間少々サンダカンに向かいました。空港からそれほど離れていないセピロックにある保護施設(セピロック・オランウータン・リハビリテーションセンター)では、密猟により孤児になったオランウータンの野生復帰に向けたリハビリの様子を見学しました。この施設は原生林の中に建てられているため、付近の森はオランウータンにとってまさに生息地そのものです。スタッフに抱かれた赤ん坊から、すでに野生復帰した子連れのオランウータンまで多くのオランウータンに出会うことができました。



▲セピロック・オランウータン・リハビリテーションセンター



▲野生復帰した子連れのオランウータン



▲野生復帰に向けリハビリ中のオランウータン

### ●食べ物を求めて…

ここには孤児になったゾウも6頭くらしています。なぜ彼らは保護施設に来たのでしょうか？日本ではイノシシやシカが田畑を荒らすことが問題となっています。同様にボルネオ島では熱帯雨林を切り開いて畑にしたために、すみかを失ったオランウータンやゾウなどが食べ物を求め畑に出てくることがあります。そのような時に人に殺され、動物の子どもだけが取り残される悲劇が起きているのです。



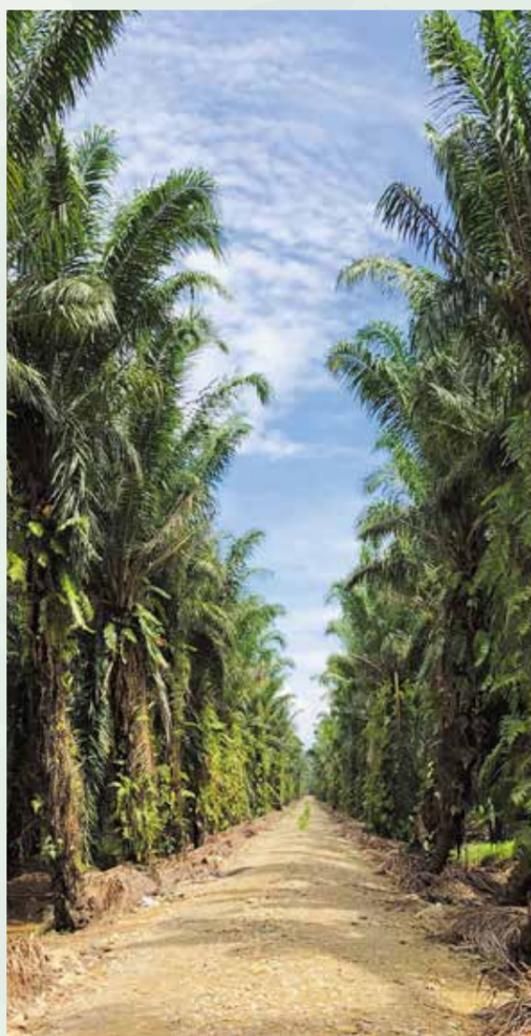
▲孤児となり保護されたばかりのゾウ

## ●アブラヤシの大農園

整然と並ぶアブラヤシの木。ここで畑に植えられているのは主にアブラヤシです。ボルネオ島内を移動すると道の両脇には生き物がくらそな熱帯雨林はほとんど見られず、見渡す限りのアブラヤシ農園が果てしなく続きます。想像以上に農園の規模は大きく、車で2時間ほど走っても、その景色はほとんど変わりません。そこで収穫されたアブラヤシの実(せいぜん)は植物性油脂(パームオイル)の原料となります。パームオイルは日本にも大量に輸入されてお菓子の原料となったり、インスタントラーメンやポテトチップスを揚げる油に使われたり、洗剤や化粧品に加工されています。これらを全く使わずに生活することは難しいかもしれません。しかし、動物園でオランウータンやゾウに会ったら、ボルネオ島で起きていることを少しでもいいので想像してみませんか。次回はゾウたちのことをもう少しお話ししようと思います。



▲保護されたゾウ(セピロックオランウータンリハビリテーションセンター)



▲整然と並ぶアブラヤシの木



▲道路の両脇にもアブラヤシ畑が続く



▲川沿いのアブラヤシ畑に現れたゾウ

担当者: 福守

# イベント実施報告

## ○平川動物公園 一日園長を務めました

僕は9月23日に平川動物公園の一日園長を務めました。今回の一日園長を通して初めて知ることがたくさんありました。普段入ることのできないコアラ舎の中まで入らせて頂き間近で見たコアラのかわいさは想像以上のものでした。水を飲まないことやユーカリの葉の先しか食べないことなど、たくさんのことを教えてもらいました。飼育員さんの仕事は、エサをあげたり掃除をしたりするだけでなく、動物の健康管理やエサの調達などたくさん仕事があることに驚きました。ヤブイヌやヤクシマザルの健康管理のトレーニングでは、日頃からトレーニングすることで、体調が悪くなった時に、押さえつけずに注射などが打て、動物に寄りそった飼育をしているんだなあと思いました。当日は動物慰霊祭にも参加し、これまで僕たちに感動や楽しさを与えてくれた動物たちへ感謝の想いを伝えました。

一日園長を通して、これまでとは違った視点から動物園を見ることができ、とても貴重な経験をさせて頂きました。またかわいい動物たちに会いに行きたいと思います。ありがとうございました。

西谷山小学校 六年 今村 悠慎



▲ヤブイヌのトレーニングを見学



▲動物たちへ感謝の想いを伝えました

## ○「国際テナガザルの日(International Gibbon Day)」イベントを開催しました

毎年10月24日は国際自然保護連合(IUCN)が組織する霊長類専門家グループの中の小型類人猿チームが制定した「国際テナガザルの日(International Gibbon Day)」です。2015年の国際テナガザル年をきっかけに世界各地のテナガザルを飼育している動物園などでは、この日に合わせてイベントが開催されています。

絶滅危惧種であるテナガザルの暮らしや現状を知ってもらい、保全への意識を高めてもらおう!という活動を行っています。当園でも、10月19日(土)・10月20日(日)の2日間にテナガザル担当者3人で特別リレーガイドをイベントとして実施しました。

イベントでは、当園で飼育しているシロテナガザル・フクロテナガザル展示場前で飼育個体紹介と動物の観察、テナガザルの「生態」・「食べ物」・「環境、保全」の3つのテーマに分けて解説などを行いました。

普段私たちが口にするお菓子やカップ麺、また衣類用洗剤などに使われているアブラヤシは、彼らの生息地であるインドネシアやマレーシアなどで栽培されています。アブラヤシを栽培するために大規模な森林伐採が行われており、彼らの生息地が失われているのです。小さなお子さんたちは初めて見るアブラヤシの写真を不思議そうにまた真剣に見ていました。

野生のテナガザルがくらす環境を少しでも守っていくために、テナガザルの日を通して私たちができる事についてこれからも伝えていきたいと思っています。



# ちょう じゅ ひ けつ 長寿の秘訣!? 大公開!!

敬老の日恒例の「長寿動物をお祝いしよう」を9月22日に行いました。今回は全部で9頭の長寿動物たちを皆さんにお祝いしてもらいました。その中から4頭の動物たちを担当する飼育員ならではの「長寿の秘訣」をご紹介します。

## マレーグマのウラン(メス) 生年月日/1992年6月18日(27歳)

マレーグマの寿命は25~30才といわれているので、ウランはかなりのおばあちゃんです。

ウランは高齢のため歯が抜けて少なくなっているため、エサを細かく切って、食べやすくしています。また、寝室には乾草を敷き、ベッドを作り、少しでもゆっくりと体を休めることができるようにしています。



## シロテテナガザルのテナ(オス) 生年月日/1972年5月24日(47歳)

12種類のサルを飼育しているサル舎で一番高齢です。今年で47歳、なんと平川動物公園が開園した年数と同じです。長寿の秘訣を一つ上げるとするならば、歌を歌うことでしょうか!? テナガザルは一生涯ベアを変えないといわれており、コミュニケーションや絆を深めるために歌います。

テナは今までに2頭のメスと生活をしましたが2頭とも先に亡くなってしまいました。しばらく一頭で過ごしていましたが、2019年12月にコウメ(メス)が来園し、現在はコウメと毛繕いをしたり仲睦まじい様子が見られています。



## フンボルトペンギンのミドリ(メス) 生年月日/1990年3月16日(29歳)

## ギン(メス) 生年月日/1991年日付不明(推定28歳)

フンボルトペンギンの寿命は20歳前後ともいわれているので、この2羽はとても長生きしています。さすがにエサの時間に若いペンギンに押し出されたり、歩行がぎこちなかったりしますが、まだまだ元気です。長寿の秘訣は、運動不足にならないように、展示場の外を歩く散歩や、栄養不足を補うためのサプリメントの投与です。これらの効果があつてか!? 驚くことに、繁殖期になると卵を産み、子育ても頑張っています。これからも健康に長生きできるように、しっかりバックアップしていきたいと思ひます。



あかちゃん紹介

# むぜもんじや

むぜもんじや: 鹿児島弁でかわいいねの意味

## こんな動物

分類:	偶蹄目 キリン科
分布:	アフリカ東部
生息環境:	木のまばらに生えた草原地帯
食性:	主に木の葉(樹皮や木の实、花、つる性の植物なども)

## マサイキリン 2019年4月10日生まれ(オス)

日本国内の動物園では、アミメキリンとマサイキリンが、合計約160頭飼育されています。その中でマサイキリンは飼育園4園、計8頭と非常に貴重な存在です。(2019年10月31日現在) 平川動物公園では、約2年半ぶりにマサイキリンの赤ちゃんが誕生したので、これまでの成長の様子をご紹介します。

**出産** 2019年4月10日、17時頃、出産の前兆が見られ、飼育スタッフの見守り中、1時間後、無事に生まれました。



気付いたときには足が...



頭と前足が先に出てきます



誕生!

## 母親の愛情

『頑張れ!』まるでそう呟いているような姿です。



こどもの体をなめるアヤメ



1時間後には立ちました!

## 角の変化

生後約1ヶ月で角らしくなってきます。



角はまだ傾いていますが...



1ヶ月後にはこの通り!

## 現在もすくすく成長中!

体の高さは約175cm、体重約80kgで生まれてきたアヤトは、半年で約3mになろうとしています。お母さんキリンのアヤメは愛情たっぷりです、今でも一緒に過ごしています。2020年の春にはアフリカ園で、家族4頭で仲良く過ごす姿が見られそうですので、これからもアヤトの成長を温かく見守ってくださいね。

## 名前が決まりました!

41日間で、多くの皆様に応募していただきました。応募総数6320票の中から『アヤト』に決定しました。素敵な名前ありがとうございます。2019年9月7日の命名式の様子です。



名前に込めた思いを聞きました



ご家族で一枚



成長の記録も紹介



あっという間にアヤメを超えるかな!?